

ボルグワーナー、クノボ社への出資を完了 バッテリーマネジメント能力を強化

- クノボ社への出資により、ボルグワーナーの電動化ポートフォリオをさらに強化
- ボルグワーナー、シリーズC資金調達において出資者のトップに
- クノボ社のバッテリーマネジメントソフトにより、安全性および急速充電能力の向上を実現

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric B.Lissalde)は、シリコンバレーに拠点を置きソフトウェアや制御機器を専門とする非公開企業、クノボ社(Qnovo Inc.)へ出資を行なったことを発表しました。これにより、ボルグワーナーは、クノボ社の数百万ドル規模のシリーズC資金調達においてトップの出資者となりました。

クノボ社は、バッテリーの劣化測定と急速充電に特化しており、今回の出資を通じたクノボ社との提携により、ボルグワーナーのバッテリーソリューションポートフォリオはさらに充実したものになります。同社のインテリジェントソフトウェアは、予測的安全対策、より急速な充電、バッテリー寿命の延長など、複数のメリットを提供します。さらに、クノボ社のソフトウェアはアダプティブ充電アルゴリズムと予測ツールをAutoSARまたは同等の車両オペレーティングシステム上で動作するアプリケーションに組み込んであります。

カリフォルニア州ニューアークに本社を置くクノボ社は、バッテリーとそのマネジメントを根本的に再考することにより、ユーザーエクスペリエンスを劇的に改善するというビジョンを持って設立されました。独自のバッテリーマネジメントインテリジェンスでバッテリーの化学的性質を強化することにより、安全性の大幅な向上、充電の高速化、バッテリー寿命の延長や容量利用率の拡大を、妥協することなく実現します。このソフトウェアはフリートモニタリングと組み合わせることで、アダプティブ充電や高度なバッテリーパック診断のための優れたソリューションを提供することが可能です。

ボルグワーナー最高技術開発責任者のハリー・ハステッド(Harry Husted)は、「ボルグワーナーは、クノボ社への戦略的投資と提携により、同社の先進的なバッテリーマネジメントソフトウェアをボルグワーナーの電動化ポートフォリオ強化に活用することが可能となり、大きなチャンスを得たと考えています。クノボ社が自動車業界に参入し、電気自動車市場に優れたバッテリーソリューションを提供するにあたり、同社と提携することを楽しみにしています」と述べています。

クノボ社について

クノボ社は、エネルギー貯蔵とモビリティの最も基本的な要素の1つであるバッテリーとその充電方法に革新をもたらします。同社は、特許取得済みのアダプティブ充電アルゴリズムとバッテリーデータ分析手法を開発し、寿命と安全性を高めながら、バッテリーの生涯性能を向上させます。バッテリーの化学的性質をコンピューター解析と学習ソフトで補強することにより、バッテリーの高速充電をより安全にすることで、日々の稼働率を上げ、長寿命化を実現しています。リチウムイオン電池に関する詳細は同社の [blog](#) をご覧ください。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 22 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2020 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針 (Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性ががあります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、AKASOL の買収による期待された利益が実現しないこと、またはそのような利益を実現する能力が遅れること。AKASOL 社の買収で期待された効果が得られないこと、またはその実現が遅れること、AKASOL 社に関する非公開戦略を適時に成功させられないこと、電気自動車の需要予測が困難であることなどです。AKASOL 社に関する非公開戦略をタイムリーに実行できないこと、電気自動車の需要予測が困難であること、2030 年までの電気自動車の売上成長率を予測できないこと、ターゲットとなる企業を特定する能力がないこと、などです。2030 年までの電気自動車の売上成長を予測することの難しさ、ターゲットを特定して許容可能な条件で買収を完了させる能力、期待された利益を実現できないこと、買収によって期待される利益を実現できないこと、売却する適切な燃焼系ポートフォリオ事業を特定し、買収した事業を迅速かつ効果的に統合することができないこと、燃焼系ポートフォリオの適切な事業を特定し、計画された売却を受け入れ可能な条件で完了させる能力、買収した事業を迅速かつ効果的に統合することができないこと、買収した事業に関連する未知のまたは見積もれない負債の可能性、自動車および買収した事業を迅速かつ効果的に統合できなかった場合、買収した事業に関連して未知のまたは推定可能な負債が発生する可能性があること、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因 (Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp